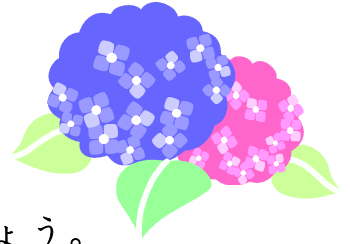


今こそ、「家庭が子どもを育てる原点」を、見つめて

わたしからのお願いです。



1. 挨拶^{あいさつ}は、「明るく、いつも、先に、続ける」
家庭人としての常識、お互いの合言葉にしましょう。

「おはようございます」「こんにちは」「さようなら」
「いただきます」「ごちそうさま」
挨拶は、何かと向き合うときの気持ちの素地。
この5つの挨拶を、家族全員が、元気な声で、言う事を続けましょう。

2. 「毎朝、自分の力で起きる」
家庭の約束としましょう。

「時間を自らの力で創造する」ことは、「人生を創造する」事、
朝、自分で起きる子どもが、自分の人生を創造できる。
人（家族）に甘えない、厳しさを学ぶことが大切です。

3. 「食事は、大きな教育の場」
家族で、食事を共にする機会を創りましょう。

「食育」という言葉があります。
食事を通して、家族のコミュニケーションを育てましょう。
「朝ご飯をしっかりと摂る。」これも大切です。
「食事の挨拶」で、感謝の心も養われます。

4. 家庭の仕事を、分担しましょう。

「家庭」は、社会の基本構成。
社会人としての基本、責任感を創造する場でもあります。
家族が分担して、家庭の仕事を、行いましょう。
自分の使った食器は、自分で片付けるなど、
小さなことでいいから、役に立つことを習慣化させましょう。

5. 「ありがとう」家族の合言葉にしましょう。

人の嫌なことや嫌いなことは、すぐ見えます。
しかし、その人の良さは、しっかり寄り添わなければ見えてきません。
人の良さをみつける特効薬が、「ありがとう」の言葉です。
言う人も言われる人も、心が温かくなります。
明るい、そして温かい家庭を創造します。

ありがとう

令和元年6月25日
鈴木 祥仁